

中岳



目 次

巻頭言	古賀 明会長	1
2006熊本市歯科医師会新年パーティー		2
平成17年度税務申告説明会		4
熊本市歯科医師会日曜祭日当番医制説明会		5
国立病院機構熊本医療センターとの協議会		6
国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会		7
中央支部放射線漏洩測定器説明会		8
熊本市歯科医師会支部長会		8
歯科専用会計ソフト説明会		9
九州八市歯科医師会役員連絡協議会		10
東部3支部新年会	堀田浩史	11
小島・川尻・南部合同新年会	古川猛士	11
Study 「患者の口腔衛生に関する関心度と臨床評価との関連性 —統計的手法の違いによる分析結果の特徴—」	堀田浩史	12
移動理事会	蔵田幸一・與儀実彦	18
韓国釜山旅行記 Part 1	清村正弥	19
Part 2	渡辺猛士	26
中根俊吾先生旭日双光章受章祝賀会		31
新人です！よろしくお願いします		32
スポーツの広場		33
会務報告		35
編集後記		

表紙のことば

「春たけなわ」

私の通勤路の川塘に咲く古桜です。

金峰山を背にして、毎年見事な花を見せてくれます。

通学路でもあり、多くの子どもたちを見守ってきた翁です。

(T.F)

巻 頭 言

歯科医師会の将来性

必要性を考えて



古賀 明 会長

熊本市歯科医師会会長に就任し、早3年が経ちました。今振りかえって見ると、アッという間に時間が経過した思いです。数多くの難問がありましたが、代議員の先生方、会員の先生方の御意見、御指導を仰ぎながら、会務執行を執行部一丸となって行って参ったつもりです。副会長を1名増やし、三役の役割分担を行い、また、7つの委員会の事業に関しても、その内容を今一度見直し、改善を行い、無駄をなくし会員の役に立つ、また、受診率向上に役に立つ委員会にする様、努力して参りました。

その中で平成16年度には熊本市との委託事業（在宅歯科健診事業、長寿の里歯科診療所事業）が廃止されましたが、これまでの熊本市と本会との友好関係により、新事業（1.5才児のフッ素塗布事業、妊婦健診事業）を立ち上げ、市民の歯科保健の向上、啓発を会員の診療所で行える様、展開したつもりですので、この事業に参加頂きまして、もっともっと推し進めて行く必要があると考えます。

それから医療苦情、相談等にもこれまでは県歯科医師会にお願いしておりましたが、行政の方では市保健所に窓口を置き、本会では医療管理委員会に窓口を置き、その一端を担う様になりました。その内容については個人情報保護を考慮しながら、毎月理事会で報告を受け、協議しております。

本会共済制度についても、会員死亡弔慰金が時代にそぐわないとの声が会員の先生方からあり、現在見直しを行っております。また、代診制度についても会員同志に於ける制度を構築する事ができないかを検討している所です。

しかしながらこの3年間で最重要課題は県歯新会館建設問題、それに伴う本会の入居問題でありました。熊本市の会館建設検討臨時委員会を発足させ、各支部会等にも積極的に出席し、皆様の考え、声を聞きながら、今後の本会並びに会員にとってどの方法が最善であるかを相談しながら結論を下しました。その結果会員の皆様方の基本財産の取り崩しを行いました、必ずやこの決断が最良の方法であったと言われる日が来ると思っております。

最後に今年度3月には診療報酬点数改正が行われますが、日歯連盟の一連の不祥事問題の影響をもろに受けて、私共にとって大変厳しい改正になると聞いております。この事を含めまして、歯科医師会の将来性及び必要性を考える時期が来たのではないかと思っております。



2006 熊本市歯科



熊本市歯科医師会
は1月28日（土）と例年
でしたが、150名以上の出席者を
いて盛大に行われました。

とくに今回の目玉「マジック show
大きさ、天井の高さを生かした大掛かり
躍もあり、大いに楽しんでいただけたことと
「持ち運びラクで」「もらってうれしい」とい
心配無用！「特選！黒毛和牛ステーキ肉」、
スパークリングワインを中心に！「アメリカ
ました。それぞれに目移りする賞品が多く
ングでは女性会員をはじめ甘党の方に予
して白ワインを飲まれる先生方が意外に
せてより「おいしいメニュー」に進
今回、日航ホテルの利用は初
したが心優しい執行部・会
無事開催できたこと



医師会新年パーティー



恒例の新年パーティー
よりやや遅い開催となりま
得て、ホテル日航「阿蘇」にお

「ダンスイリュージョン」はホール
の出し物で、マジシャン「アサミ」嬢の活
思います。お約束のビンゴ大会では賞品を
う観点から大幅に再検討した結果、BSE
和洋中なんでもOK! 「ホテル日航御食事券」、
政府公式ワイナリーのワイン」等を取り揃え
ステージ横に渋滞が生じ、またケーキバイキ
想以上の好評をいただきました。反省点と
多く、次回からはメニューもそれに合わ
化させる予定です。

めでたであり心配気味のスタートで
員諸先生方のご協力もあり
をお礼申し上げます。

(厚生 嶋田英敏)



平成17年度税務申告説明会

平成17年度税務申告説明会を1月26日県歯会館3階ホールに熊本西税務署特別記帳指導官の光本正信氏を講師としてお招きし開催いたしました。当日は30名の参加者がありました。

まず藤波副会長より挨拶があり、今回は最後の税務申告説明会ということで、税務署の皆様の方の御協力に対して謝辞が述べられました。



引き続き光本特別記帳指導官より説明がありました。所得税の主な改正点については次のようになります。

- I. 平成17年分所得税の改正事項
 - (1) 社会保険料控除の改正
 - (2) 住宅借入金等を有する場合の所得額の特別控除の改正
 - (3) 寄付金控除の改正
 - (4) 政党等寄付金特別控除の改正
- II. 平成16年度の改正事項のうち、平成17年分の所得税から適用されるもの
 - (1) 公的年金等控除の改正
 - (2) 老年者控除の廃止
 - (3) 青色申告特別控除の改正
- III. 平成17年度の改正事項のうち、平成18年分の所得税から適用されるもの
 - (1) 定率減税額の引下げ
 - (2) 教育訓練費の額が増加した場合の所得税額の特別控除の創設
 - ① 青色申告書を提出する個人の平成18年から平成20年までの各年の事業所得の金額の計算上必要経費に算入される一定の教育訓

練費の額が、その年の前2年以内の各年の事業所得の金額の計算上必要経費に算入される教育訓練費の平均額を超える場合には、その超える部分の金額の100分の25相当額の所得税額の特別控除を認めることとされました。ただし、その年分の事業所得の金額に係る所得税額の100分の10相当額が限度とされます。

- ② 青色申告書を提出する中小企業者に該当する個人については、上記①の制度の適用に代えて、その年分の事業所得の金額の計算上必要経費に算入される一定の教育訓練費の額に対し次の割合による所得税額の特別控除を選択適用することを認めることとされました。ただし、その年分の事業所得の金額に係る所得税額の100分の10相当額が限度とされます。

イ) 教育訓練費増加割合(その年分の事業所得の金額の計算上必要経費に算入される教育訓練費の額からその年の前2年以内の教育訓練費の平均額を控除した金額のその平均額に対する割合)が100分の40以上100分の20

ロ) 教育訓練費増加割合が100分の40未満
教育訓練費増加割合に0.5を乗じた割合
次に、確定申告書B様式(個人事業主はB様



式)を用いて所得税のしくみについて説明がありました。税額計算の基本的事項としては次の事を頭に入れておけばよいとのことでした。

所得金額－所得控除＝課税される所得

課税される所得×税率＝算出税額

算出税額－（税額控除＋定率減税額＋源泉税額など）＝納付税額

説明終了後、質疑応答に入りました。医療費控除用に治療費の領収書の再発行を患者側から要求された時は、本発行のものと重複する可能

性があるので、過去1年間の治療費の領収証明書として出す方がよいとのことでした。

今回が最後の税務申告説明会となりましたが、税務については今後も情報提供を行っていきたいと考えております。

（医療管理 金本和久）



日曜祝祭日昼間診療当番医説明会



本会の平成18年度よりの新事業である、「日曜祝祭日昼間診療当番医」の説明会が、2月24日（金）19時30分より県歯会館3階研修室で行われました。

歯科医師会未入会の歯科医院の増加が顕著であり、また本会会員内にも日曜祝祭日を診療日に設定する方が珍しくなってきた中、本会としても熊本市民の歯科治療ニーズを取り込むサービスとして、日曜祝祭日昼間診療当番医は過去2、3年来の懸案でありました。しかし常務会内でも賛否両論がみられ、全会一致で、とはいかないので、理事会や代議員会でも議論を尽くし、全会員に事業の必要性や協力の意思を確認するアンケートを実施した上で、スタートを期することとしました。

それらを踏まえた結果、中川順一理事（厚生）より、説明会時点での現況が次のように説明されました。

1) 会員中、32名の協力



医の輪番制で行う

- 2) 各日祝祭日につき市内で1診療所を当番医に設定する
- 3) 黄金週間、盆（8月）および年末年始は24時間救急指定医療機関に依頼する
- 4) 診療時間は、午前10時から午後4時までの6時間とする
- 5) 当番医の住所・診療所名の告知は、熊日新聞とリビング熊本、本会ホームページに掲載する
- 6) 本会や行政からの出務費や補助はない
- 7) 応急治療終了後、治療継続の必要がある場合には、かかりつけの本会会員診療所に通っていただく（紹介状を付ける）

また、社保委員会の金本良久先生より、普段の日曜祝祭日を休診日としている診療所に関して、当番時の休日加算や処置加算に関する解説がなされ、協力医の社保請求時におけるガイドラインを研修しました。



協力医の不安は、果たして何名くらいの方が受診なさるのだろうか、多すぎても少すぎてもねえ、に尽きるようでした。

本会が抱えるこの事業の今後の課題としては、協力医を今の2、3倍以上に増やし、当番医を1診療所でなく複数にすることがあげられます。

（常務理事 清村正弥）

国立病院機構熊本医療センターとの協議会

1月10日国立病院機構熊本医療センターにおいて、国立病院機構熊本医療センターの宮崎久義院長、池井 聡副院長、河野文夫副院長、高橋 毅救急医療センター部長、児玉罔昭歯科口腔外科医長の各先生方との協議をいたしました。本会からは、古賀会長、藤波副会長、矢毛専務、田中理事、尾上医療管理委員長が出席いたしました。

まず宮崎院長より国立病院機構熊本医療センターの新築の目処が立った事と病院内のIT化を進め、2月から新しいシステムが稼動することになり慣れるまで暫くはトラブルが発生するかもしれないが、より一層のサービス向上を目指すもので辛抱いただきたい旨の挨拶がありました。そして古賀会長からは救急救命に関する研修会をこれからも継続してお願いしたい事や歯科医療が厳しい中、非会員の増加が進んで歯科医師会への入会率が低い状態だが国立病院機構熊本医療センターとの連携が外に見えるメリットと言えとの挨拶があり、児玉医長の司会で協議を行いました。

1. 開放型病院連絡会について

2月13日（月）の連絡会は、国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センターにおいて午後7時より開催され、今回は本会から宮本格尚先生がパネリストとして参加される予定です。今回の特別講演は厚生労働省医政局指導課の医療計画推進指導官 針田 哲氏「医療供給体制（救急医療を含む）について」の予定。当日は二の丸公園から入場する臨時駐車場が用意されます。

2. 歯科救急医療について

2005年1～12月の救急外来受診患者は111名です（前年度は118名）。救急救命センターの受診歯科患者は54名。公的救急車来院は42名との

報告がありました。

3. 障害者歯科治療について

病院としての受け入れ態勢はすでに出来ているがまだ依頼が無いとの報告でした。本会からは、2年後に発足予定の療育センター（仮名称）に国立病院機構熊本医療センターでの障害者歯科治療について紹介している事を伝えました。それから歯科紹介率が少し伸びてきていて、目標の30%を超えたとの事です。会員に国立病院機構熊本医療センターの救急対応が評価されてきたのではないのでしょうか。

4. 救急蘇生講習会について〔11月9日（木）〕

麻酔科の先生による蘇生法と気管内挿管の講習ならびに実習をして頂く事になりました。電気ショックによる心臓蘇生装置の説明をスタッフ向けにお願いしました。

5. 歯科研修についての情報提供

諸事情により18年度は研修医の受け入れは行われません。

国立病院機構熊本医療センターの登録医は本会会員にとってメリットの多い制度と思います。登録やそれに伴う費用など無料ですし、随時申し込みが国立病院機構熊本医療センター庶務課096-353-6501と市歯科医師会事務局343-6669で出来ますので、いざという時の為に、加入をお勧めいたします。電話での申し込みもできます。

（医療管理 尾上 宏）

国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡会



平成17年度第
2回（通算20回）
開放型病院連絡
会は、2月13日
（月）19時より
熊本医療センター
の地域医療研修
センターにて開

催された。まず宮崎久義病院長より開放型病院
になって10年になる事、歴代の開放型病院連絡
協議会委員ならびに登録医の先生方へのお礼を
述べられ、病院の現状についての報告をされた。
ついで開放型病院運営協議会委員長の熊本市医
師会長福田先生より挨拶があった。理想的な医
療提供には高度先進医療の取り組み、患者満足
度の充実、医療資源の活用が必要であるが、そ
れを実現させるためには医療の機能分化と医療
連携が不可欠であることを述べられた。

全体会議では症例呈示として形成外科の大島
医長より「ケロイド、肥厚性瘢痕の治療」を、
呼吸器内科の森松医長より「熊本医療センター
における呼吸器科の現状と展望」についての講
演が行われた。続いて総合討論では清川研修部
長より、新研修医の研修の実情報告と来年度の
地域医療への協力をお願いされた。また森経営
企画室長より「開放型病院の共同指導の利用方
法」の案内があり、紹介後、登録医がセンター
の主治医と共同で指導を行うことにより、開放
型病院共同指導料（Ⅰ）350点の算定が可能な
ので協力をお願いしたいとのことだった。

フロアでの自由討論では近見町にて開業の宮
本格久先生より熊本医療センターへの質問、要
望があり、それに対する回答は以下の通りであ
る。

1) Q. 4月から、口腔外科の定員が大幅に削減
されると聞いたが、紹介患者数も増えて
いる中で今まで通りの診療態勢の維持は
大丈夫か？

A. 社会情勢を考えると人員削減はやむを得



ない。ただし診療態勢に支障を来さない
様にしますとの事。

2) Q. インプラントなどの高度先進医療に対
して今後取り組む予定はあるのでしょうか。

A. インプラントは取り組む予定だが、設備
投資が必要なため、すぐにとはいえない。

3) Q. 紹介患者のオペに時間が合えば立ち会
いたいの、前日あるいは数日前に予定を
お知らせいただければありがたいです
が？

A. 連絡はしていると思うがさらに徹底した
い。

4) Q. 口腔外科に紹介して治療の必要上他科
（耳鼻科、内科等）に回った場合、その
まま来院が途絶えて紹介時に添付したレ
ントゲン等の資料が返却されていないケ
ースがあったのでチェックをまめにしてほ
しい。

A. 返却するようにしているが、さらにチェ
ックし、間違いのないようにしたい。

本日のメインテーマの特別講演として、厚生
労働省医政局指導課、医療計画推進指導官の針
田 哲氏より「医療提供体制（救急医療を含む）
について」の講演があった。今後、高齢化にと
もない増加する医療重要に対処するには、機能
分化と医療連携が重要であり、現在行われてい
る医療連携の実例をあげながらの講演があった。
講演終了後、フロアの登録医の先生方との活発
な意見交換が行われ、閉会した。

（医療管理 有働秀一）

中央支部放射線漏洩測定器説明会



11月11日（金）、午後7時30分より歯科医師会館3階研修室にて、中央支部放射線漏洩測定器使用説明会が行われました。

まず、医療管理 田中弥興理事より各診療所における放射線漏洩の測定義務についての説明があり、次いで測定器の使用方法的説明、および結果の記録方法についてお話をいただきました。

また、説明の途中に測定器をまわしていただき、各会員がそれぞれ実際に使用してみました。使い方は簡単なのですが、なにしろ初めて見る器械なので実際に手にとって説明を受けていなければ、正しく測定できているか不安だったと思います。

お陰で実際に自院での測定もスムーズに行うことができました。

現在、この放射線漏洩測定器は各支部会員に順次貸し出されています。



各診療所の管理者は半年に1回、X線撮影室の周囲で漏洩量を測定し、その数値を記録し保存する義務があります。保健所の立ち入り検査



時には、その記録が必要となりますので留意されて下さい。

（中央 高木雅子）

熊本市歯科医師会支部長会

11月25日（金）午後7時30分より、忘年会を兼ねた熊本市歯科医師会支部長会が银杏釜飯において行なわれました。

市の執行部より参加の藤波副会長と中川理事のあいさつで始まりました。藤波副会長からは、新会館建設が順調に進行していること、放射線漏洩測定器の貸出が今年度から行なわれていますが、来年度も続ける予定であること、日歯会長選が来年1月の予定であることなどの報告が

ありました。中川理事からは、厚生事業であるビアパーティーの報告や、1月の新年会では、女性マジシャンを呼ぶ予定であるなどのお話がありました。

つづいて、北部3支部長 斉藤先生の乾杯で忘年会が始まり、それぞれに酒を酌み交わしながら話がはずんでいるうちに終宴となり、最後に大嶋先生の一本締で終了となりました。

（東部4支部長 宮本浩幸）

歯科専用会計ソフト説明会



10月27日県歯会館3Fホールにて、日本歯科医師会推薦 歯科専用会計ソフトの説明会を開催いたしました。開発会社のKKガロアマネージメントの代表取締役 小野輝比古氏より使用方法と説明が行われた後、参加者との質疑応答がありました。「今お願いしている税理士さんとの繋がりには切れない。そんな時は？」との質問に対して、「ソフトのコピーを税理士さんに渡して今使用している高いソフトを止める。月のまとめと年末の申告をお願いします。」というパターンが多いそうです。今回のソフトは歯科の経理項目をほとんど登録しており、扱いやすいソフトではないかと思いました。月々の入力や、月をまたいでの入力など面倒くさがりの方にも



向いていそうです。Windowsがはいっているパソコンなら大体動くそうです。無料の体験ソフトもKKガロアマネージメントに連絡していただければ手に入れる事も出来るそうです。

KKガロアマネージメント

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場4-29-31

TEL03-3363-5171

ソフト料 ￥52,500

保守点検料 ￥31,500 (年額)

(医療管理 尾上 宏)

お勧めの一冊

意味がなければスイングはない 村上春樹 文藝春秋

村上春樹といえば、無気力な世代を活写して書評家たちの世代交代を早めた作家の一人ですが、この本は、著者の好きな曲、レコードについて、思いっきり好きなだけ書いてあるものです。シューベルト、スタン・ゲッツ、スプリングスティーン、スガシカオなど硬軟とりまぜてどうぞ、という感じ。

特に私のごひいき、ブーランクにまで言及してあれば、うんうん、いやいや、と肯いたり反発したり、いちいち反応してしまいます。(ちなみに私もブーランクは日曜の朝に聴くことが多いのですが、CDをエンドレスで流しています。といっても読んだ方じゃないと判らない話で申し訳ありませんが…)

スプリングスティーンはデビュー盤(グリーンティング・カードを模したジャケットです)を持ってるほどの年配の入ったファンの私ですが、春樹氏が大学で講義をした時期に、近所のアズベリーパークに行ったことがあるという話も書いてあると、身もだえしたくなるほどうらやましい

そんなこんなで、音楽に興味がある方には、決して退屈させない、また新しい興味の対象を見つけ出せるかもしれない一冊です。

九州八市歯科医師会役員連絡協議会



第34回九州八市歯科医師会役員連絡協議会が10月7日（金）午後4時より「城山観光ホテル」に於いて鹿児島市歯科医師会の主催で行われました。

出席者は以下の通りです。

会 名	会長	専務理事
宮崎市郡東諸県郡歯科医師会	相馬 博	杉尾隆夫
南部地区歯科医師会	山川 修	玉城 均
福岡市歯科医師会	山本達雄	熊澤榮三
大分市歯科医師会	河野尚俊	菅野孝一
佐賀市歯科医師会	小川正文	前山茂樹
長崎市歯科医師会	山口邦雄	松谷和彦
熊本市歯科医師会	古賀 明	矢毛石豊
鹿児島市歯科医師会	森原久樹	榎木隆一

本年度の協議題及び回答について報告します
協議題 1

終身会員の条件について（大分市）

大分市では会員歴30年以上かつ70才以上に達した場合、終身会員となる。これは本会も同じですが、南部地区、福岡市、佐賀市及び長崎市では25年以上かつ70才以上で終身会員。鹿児島市では20年以上かつ70才以上で終身会員となっています。どこの市でも今後終身会員が増えるので会費の見直しを検討しなければならない時期に来ているという意見がありました。

協議題 2

介護保険の見直し（新予防給付事業）につい

て（長崎市）

本会では取り組んでいませんが、宮崎市と南部地区で昨年度より筋力トレーニング事業の指定地区となり数ヶ所の介護施設で実施されていました。佐賀市では口腔ケアがどのような方法で実施されるか注目していて、申請から審査決定、実施といった一連の流れの中で、どのような関わりを持っていくべきものか検討中であるとのことでした。その他の市では取り組んでいませんでした。

協議題 3

未入会者（非会員）対策について（鹿児島市）

どこの市でもいろいろ対応しておられた。例えば入会金の減額、分割納入、入会を促す文書の送付、大学の同窓会やスタディーグループを通じた勧誘等々。大分市では驚いたことに未入会者はいないそうです。ただし総合病院に併設した歯科、訪問診療専門、自費診療のみの医院を除いて。また長崎市では地道な説得を繰り返すことで、この3年間では非会員はたったの1件だったそうです。

熊本市では現在34名の非会員がいますが福岡にいたっては152名もいるそうです。どこの市でも頭を痛めている問題ではないかと思っています。

次回は宮崎市郡東諸県郡歯科医師会の主催で行われます。

（専務理事 矢毛石 豊）

東 部 3 支 部 新 年 会

1月7日（土）午後7時より、恒例の新年会が「青柳」にて行われた。

まず、東部3支部長の寺本豊徳先生より年頭の挨拶があり、続いて会務報告、放射線漏洩測定器貸出しに関する話し合いがなされた。会計報告、監査報告の後、当日参加されていた新入会員の梶谷哲雄先生より自己紹介がなされた。さらに岩村泰行先生（傘寿）、山室紀雄先生（古希）、合沢康生先生（還暦）、奥田良樹先生（還暦）の表彰も行われた。

古賀明会長にご挨拶いただいた後、内田裕治先生による乾杯のご発声で祝宴が始まった。出席者数は22名とやや少なくなはあったが、和やかなムードのうちに時間は過ぎ、午後9時過ぎに矢毛石豊専務理事による「三本締め」でお開きとなった。

（東部3 堀田浩史）



小 島 ・ 川 尻 ・ 南 部 合 同 新 年 会

1月19日（木）料亭「すぎき」にてとり行われました。3支部が一緒にやるなんて、少なくとも私が入会してからは一度もなかったことです。なんだか、新鮮な感じがしました。たまにはこんなのもありかな、という感じ。

来賓として、県歯堤会長、市歯古賀会長、田中弥興医療管理理事においでいただき、それぞれ会の現状、診療報酬改定を含めた歯科界を覆う暗雲、また新会館建設の進捗状況などまじえてご挨拶いただきました。

関先生による乾杯のご発声で宴の始まりとなりましたが、杯を重ねるうちに座はいり乱れ、とつこうつするうちお開きになりまして、紅灯の巷へ三々五々消えていった新春の夜でありました。

（南部 古川猛士）



患者の口腔衛生に関する関心度と臨床評価との関連性

—統計的手法の違いによる分析結果の特徴—

堀田 浩史

1. はじめに

近年、健康教育の目標は指導型の教育から学習援助型のものへと移行してきています。すなわち、患者との接し方は診断的理解から共感的理解へ、コミュニケーションの主体は我々歯科医師から患者へ、歯科医師の教育技術は話し説明することから聞き尋ねることへと変化していく必要が生じてきました。

自院において「予防歯科のスタンダード化」を目指し、学習援助型の患者教育を進めていくのであれば、患者の全人的な把握が必要となってきます。全人的な把握は極めて困難な作業となり、また長期的にその患者と向き合っていかなければ不可能であると思われます。しかしながら、「予防歯科のスタンダード化」において、地域住民の口腔衛生に対する姿勢や自院の臨床評価などについては、ある程度把握しておく必要があると思われます。

本稿では、国立病院機構熊本医療センター、NTT九州病院および西日本病院の歯科受診患者309名を対象とした口腔衛生に関する行為についてのアンケート調査および口腔内臨床所見のデータを用いて、患者の口腔衛生に関する関心度と臨床評価との関連性を見ていきたいと思います。一方で、データ解析において、ある有意な関連性が統計的手法の種類によっては見失われてしまうかもしれない事を本データで例示し、データ解析を行う際の留意事項についても少し触れていこうと思います。

2. 患者の口腔衛生に関する関心度

口腔衛生関心度については、歯磨き回数や歯ブラシ以外の清掃用具の使用状況など口腔衛生行為に関する事項で類推することもできるでしょうし、歯磨きに対する考え方や嗜好性など口腔衛生意識に関する事項でも可能でしょう。できれば複数の調査項目の作成・調査を行い、多変量解析して関心度スコアなるものを求めると、ある一つの項目で分析するより信頼性の高い結果が得られると思います。

今回、多変量解析による患者の口腔衛生関心度の算出については、過去の研究において表1に示す調査項目で得られたデータをもとに患者の口腔衛生に対する関心度スコアを求めました（文献1、2）。本稿では、各調査対象者に付与された当該関心度スコアを用いて、臨床所見などとの関係を分析していくことにします。

なお、多変量解析といっても多種多様な方法がありますが、この関心度スコアは数量化第三類という解析法を用いています。この手法は、反応の仕方の似た個体（本稿では質問票に対して似たような回答をした調査対象患者）、反応のされ方の似たカテゴリー（本稿でのカテゴリーは調査項目の各評定にあたります）をそれぞれ集めて分類する方法です。数量化第三類では、個体とカテゴリーにスコアを付与することによって作業が行われます。とても雑な表現で申し訳ありません。数量化第三類については、機会がございましたらまた改めて述べさせていただきます。

表1 質問票調査項目と各評定

1. 歯磨き回数

・歯磨きは1日に何回していますか？

1) 1日に1回以下、2) 1回、3) 2回、4) 3回、5) 4回以上

2. 補助清掃用具

・ 歯ブラシ以外のものでも歯を磨きますか？

- 1) 歯ブラシのみ、2) たまにデンタル・フロスまたは歯間ブラシを使用、
3) いつもデンタル・フロスまたは歯間ブラシを使用、4) その他

3. うがい回数

・ 歯磨き以外で、うがいや口すすぎは1日何回していますか？

- 1) めったにしない、2) 1回、3) 2回、4) 3回、5) 4回以上

4. 鏡を見る回数

・ 口の中を鏡でよく見えますか？

- 1) 見ない、2) たまに見る、3) 頻繁に見る

5. 歯磨き時間・回数の変化

・ 昔と比べて、歯磨きの回数や時間に変化はありますか？

- 1) 減った、2) 変わらない、3) 増えた

なお、過去に、歯磨き回数が多いほど、歯間ブラシやデンタル・フロスの使用頻度が高いほど、1日の含嗽回数が多いほど、鏡で口の中を見る回数が多いほど、清掃回数・時間が増加するほど、口腔衛生関心度が高い結果を得ていますので、これらのうちの一つを調査して、そのデータを口腔衛生関心度として類推してもよろしいかと思われます。(学会発表するようなことがあれば話は別ですが…。)

3. 分析に用いた臨床所見など

質問紙調査対象者全員に対しては、口腔衛生関心度と臨床評価などとの関連性を検討するために、表2に示す臨床所見などについても調査しました。

表2 臨床評価項目など

1. 性 (男性・女性)
2. 年齢
3. 健全歯数
4. 処置歯数
5. 欠損歯数
6. 欠損補綴歯数
7. 未処置歯数
8. CPITN平均値
9. CPITN最高値
10. M2+M3 歯数
11. 口腔衛生指導は誰から受けたか
(受けたことがない・歯科医・歯科衛生士・その他・不明・歯科医&歯科衛生士)

4. 患者の口腔衛生関心度と臨床所見などとの関連性を相関係数で求める

まず、患者の口腔衛生関心度と表2で示した臨床評価項目間の相関を求めて、それらの関連性を調べてみました。相関係数を求める場合、両者のデータは数値として表されている必要があります。ですから、1) 性および11) 口腔衛生指導については数値で表現できる項目ではないので、分析からは

除外しています。もっとも、他の項目も身長や体重、温度などのような等間隔のデータとは微妙に性格が違うので、相関分析する場合、求められた結果はよく吟味する必要があります。

さて、よく「有意な正の相関が認められた」といって、その結果を重要視する学会発表とか散見します。しかし、「有意な正の相関」と「意味のある因果関係」とは別の次元の話となります。例えば、相関係数が0.7以上で、それが有意と判断されれば、両者にはかなり強い関連性が示唆されると言えるかもしれません。

5. 相関係数の解釈にあたっては、いくつかの問題点があります。

まず、相関係数そのものが二つの事象データ間の直接的な因果関係を示すものではないということです。両事象間の関連の程度（共変動）を相関係数は表してくれる指標ではありますが、両者の共変動する究極的な原因は様々だからです。相関関係の本質を見極めるための補助手段として多変量解析なるものがあります。最近では、インターネットに接続すると、データを入力さえすれば簡単にしかも無料で多変量解析をしてくれます。

例えば、Black Box というサイト (<http://aoki2.si.gunma-u.ac.jp/>から入ることができます) では、種々の解析法を勉強することもできます。ご興味がございましたら、のぞいてみてください。

その他、相関係数を求める場合、標本のとり方や交互作用の問題、曲線相関の問題などに注意する必要があります。すなわち、偏った標本で分析していないか（色んな集団のデータを取り込むのではなくて、似たような集団のみのデータで分析する）、正反対の性格を持つような集団をひとまとめにして求めているか（相関係数は0に近くなる）、直線的な関係がなくても対数変換したら関係が出てくることはないか、といったところでしょうか。

相関係数を求める場合、データは数値（あるいは順番）として表されてなくてはなりません。患者の口腔衛生に関する関心度は、数量化第三類という多変量解析法によって数値化しました。ですから、相関を求めたい相対する調査項目も数値化しなければなりません。表2に示した調査項目の中で、先述したとおり1) 性および11) 口腔衛生指導は誰にしてもらったか? については、ちょっと数値化できませんので相関分析からは除外することにします。

ということで、その他の項目と関心度スコアについて、ピアソンの積率相関係数を求めたら表3のような結果となりました。

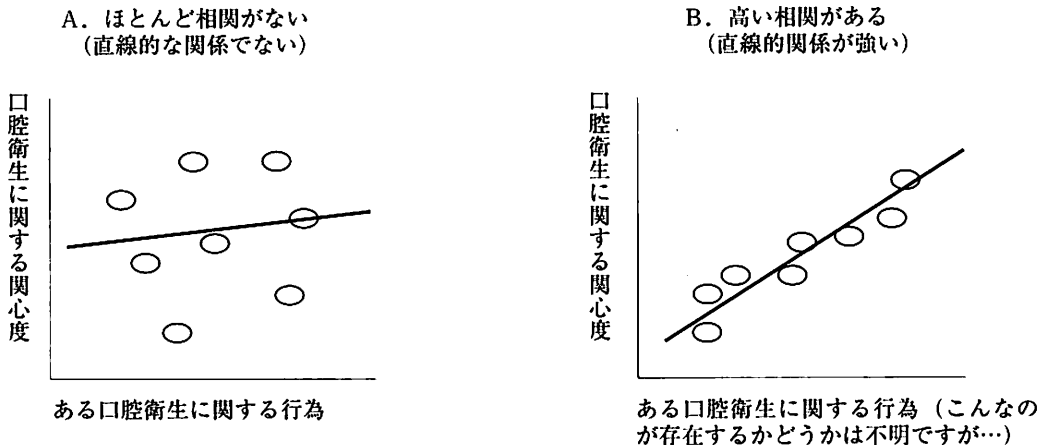
表3 口腔衛生関心度スコアと各評価項目との相関係数

口腔衛生関心度スコア×年齢	+0.122
×上顎の健全歯数	-0.112
×下顎の健全歯数	-0.035
×上顎の処置歯数	+0.172
×下顎の処置歯数	+0.144
×上顎の健全および処置歯数	+0.048
×下顎の健全および処置歯数	+0.070
×上顎の欠損歯数	+0.012
×下顎の欠損歯数	-0.022
×上顎の欠損補綴歯数	+0.005
×下顎の欠損補綴歯数	+0.011
×上顎の未処置歯数	-0.143
×下顎の未処置歯数	-0.150

×CPITNの平均値	+0.137
×CPITNの最大値	+0.081
×動揺度2および3の歯数	+0.125

相関係数の範囲は-0.143～+0.172ということで、両者の直線的な関係は認めることができませんでした（図1-Aのイメージ）。つまり、一方の項目が大きな値を示せばもう片方も大きな値を示し、小さな値を示せば他方も小さな値になってしまうというような関係（図1-Bのイメージ）は、分析対象としたすべての項目において認められなかったということです。

図1 相関関係のイメージ図



歯磨き回数と齧食との関係はよく議論されてきましたが、種々の要因が重なり合っているのでしょう、純粋に両者の関係を直線的な関係で説明することは困難なようです。（今の話の論拠：歯磨き回数と口腔関心度スコアはほぼ連動している。しかし、関心度スコアと健全処置歯数や未処置歯数との相関係数は小さな値である。）その他の項目についても、相関係数ではうまく説明できないようです。

6. 患者の口腔衛生関心度と臨床所見などとの関連性をクロス集計表を使って検討する

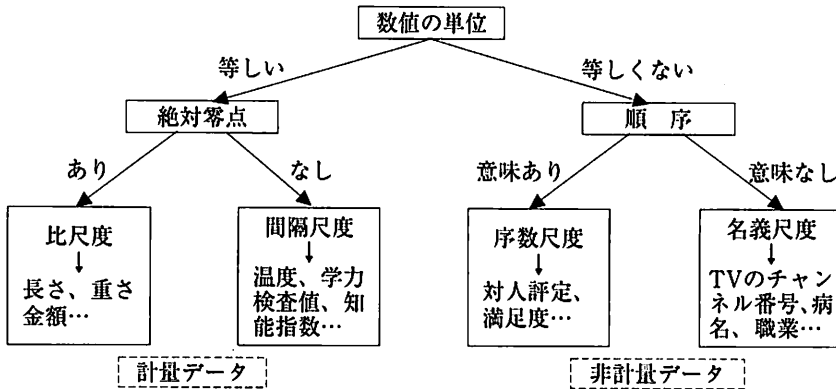
調査や実験によって得られたデータは、その性格によって4種類に分類されます。

身長や体重のようないわゆる物理的量の場合は、たとえば100kgは50kgの2倍というように数の比の相等性が意味を持ち、しかも絶対零点が存在します。このようなデータは「比尺度」で測定される計量データとなります。一方、温度や学力検査値、知能指数といった、数値の差には意味があるが絶対零点は存在しないデータは「間隔尺度」で測定される計量データとなります。

あと2つの尺度は非計量データを取り扱う場合に用いるものです。“好き…3点、普通…2点、嫌い…1点”といった評定区分を調査に用いるとき、3点と2点、2点と1点の間が等間隔であるという保証はありません。このように順序のみが意味を持つような尺度を「序数尺度」といいます。さらに、テレビのチャンネルや病名、性別、職業名のように順序さえも意味を持たず単なる記号として解釈する尺度を「名義尺度」といいます。

以上のことから、今回調査したデータは非計量データレベルであると考えたほうがよさそうです。

図2 異なった尺度水準間の関連



ということで、1) 性、11) 口腔衛生指導という「名義尺度」レベルの調査項目もあることだし、すべての調査項目データを「名義尺度」化して分析してみようということになりました。

2つの事象の関連は、まずクロス集計表を作ることから始まります。表4は、関心度スコアを5段階に分類して、各段階に男女何人存在していたかを示した（観測度数を示した）クロス集計表です。また、表5は各カテゴリー（関心度スコアであれば、a) <-1.5、b) -1.5~-0.5、c) -0.5~+0.5、d) +0.5~+1.5、e) +1.5<の5つのカテゴリー、性であればa) 男性、b) 女性の2つのカテゴリー）における期待値を示したものです。

表4 口腔衛生関心度スコアと性別におけるクロス集計表（観測度数）

口腔衛生関心度スコア	女 性	男 性	合 計
< -1.5	2	8	10
-1.5~-0.5	48	54	102
-0.5~+0.5	67	35	102
+0.5~+1.5	56	11	67
+1.5<	22	6	28
合 計	195	114	309

表5 口腔衛生関心度スコアと性別におけるクロス集計表（期待値）

口腔衛生関心度スコア	女 性	男 性	合 計
< -1.5	6.31	3.69	10
-1.5~-0.5	64.37	37.63	102
-0.5~+0.5	64.37	37.63	102
+0.5~+1.5	42.28	24.72	67
+1.5<	17.67	10.33	28
合 計	195	114	309

この観測度数と期待値とのズレが大きいほど、両者が“独立していない”ということになります。その関連の度合いは、クラメールの関連係数で知ることができます。しかし、その係数の値がどの程度意味のある大きさなのか分からないよ、ということになると思われます。ちなみに、相関係数と対応させるためには、クラメールの関連係数の平方根を用いればよいとのこと。そうしますと、関心度スコアの性差においては、関連係数は0.334で、その平方根は0.578となります。0.578といえば、結構大きな値の相関係数といえます。すなわち、口腔衛生関心度と性別には強い関連性があると考えられます。具体的には、例えば女性の方がクロス集計による期待値よりも関心度の高い人が多く、一方で男性の方は期待値よりも関心度の低い人が多い、ということからも理解できると考えられます（表4、5）。

7. 患者の口腔衛生関心度と臨床評価などとの関連性について

クロス集計表による独立性の検定および、Mann-Whitney検定およびKruskal-Wallis検定といったノンパラメトリック法（今回は両分析法の詳細は割愛させていただきます）を使って分析した結果も合わせて以下に述べさせていただきます。

- 1) 男性と女性を比較すると、女性の方が口腔衛生関心度が高い人が多い（ $P < 0.01$ ）。
（ノンパラメトリック法でも同じ結果でした。）
- 2) 処置歯数が8本以上になってくると、そうでない人に比べて口腔衛生関心度が高い人が多い（ $P < 0.01$ ）。
- 3) 未処置歯数が2本以上になってくると、そうでない人に比べて口腔衛生関心度は低い人が多い（ $P < 0.05$ ）。
- 4) CPITNの平均値（最高値ではない）において要治療度2以上になると、口腔衛生関心度も高くなる人が多い（ $P < 0.01$ ）。
- 5) M2 + M3歯数では、3本以上になると口腔衛生関心度の高い人の割合が多くなっていく。一方で、M2あるいはM3の歯を持たない人の口腔衛生関心度は、総じて決して高くない（ $P < 0.01$ ）。
- 6) 口腔衛生指導を歯科医師と歯科衛生士両者で行われた人の口腔衛生関心度は、他の方法で行われた人よりも高い人が多い（ $P < 0.01$ ）。

ちなみに、ノンパラメトリック法の分析結果によれば、口腔衛生関心度スコアは歯科医師 + 歯科衛生士 > 歯科衛生士 > 歯科医師の順になっています。なお、衛生指導を受けたことがない人の関心度は最も低い結果となっています。これは、衛生指導を実際に受けたことがない人に加えて、受けているにもかかわらず、その指導が心に残らないほど関心がない人も多分に含まれているものと推察されます。

8. 最後に

今回の分析結果の普遍性については検討していかなくてはなりませんが、各種調査データは、いたずらに評価項目を数値化して相関分析するより、名義尺度と割り切って、クロス集計表を作って分析したほうが面白い結果が出てくる可能性を提示してみました。

クロス集計表を作るに当たり、その分類の仕方は分析者の主観に委ねられています。有意性のある結果を導くためには多種多様の集計表を試行錯誤的に作って分析する必要があります。相関分析と違って、その部分が大変な作業となりますが、先ほど示した観測度数と期待値を求めたクロス集計表で、そのズレが大きくなる方向を探していけば良いと思われます。具体的には、 χ^2 検定を用いてクラメールの関連係数が大きくなるような集計表（分割表）を試行錯誤的に作っていくわけです。

先述したBlack Boxで解析する場合、まず使用法をクリックした後クロス集計を開き、使用例をご覧くださいと、 χ^2 検定の流れが理解できます。他、データファイルの形式に関しても説明されていますし、よく理解できなかったらメールでの問合せもできるようです。取りあえず架空のデータで分析されてみてはいかがでしょうか？（実は私、数量化第三類でBlack Boxを利用したことはあるのですが、 χ^2 検定は他のソフトを使っており、Black Boxは利用したことがないのです。申し訳ございません。）

9. 文献

- 1) 藤好ふみ子、他：口腔衛生会誌、46；570-571、1996。
- 2) 蔵本和咲、他：口腔衛生会誌、47；530-531、1997。



移動理事会



恒例となった移動理事会が今年は12月17日（土）、18日（日）に行われました。今年は例年になく、12月なのに冷え込みが厳しい時期でした。場所は本渡の天草国際ホテル「アレグリア」で現地集合。5時より理事会となっております。場所が本渡ということで当初翌日のゴルフ組以外は熊本港から高速艇で行く予定にしていたのですが、車で行くと言われる先生がいたので、1人を除いて車4台に分乗して出発しました。残った1人のS理事だけは熊本港から本渡へ、の予定でしたが運の悪い先生でその日は何と天候不良で欠航。市内まで引き返しバスで現地まで来るはめになってしまいました。勿論理事会には間に合いませんでしたので後で報告はして



もらいました。懇親会はホテルではなく別の場所で6時からの予定でしたが、会議が長引き6時30分からになってしまいました。当日は天草郡市歯科医師会より差し入れを戴き、また我々が到着するまで、わざわざ待って頂き本当に有難いことでした。紙面を借りてお礼申し上げます

す。さて、懇親会も終りに近づいた頃ようやくS理事の到着。皆拍手で迎えました。遅れた分急いで食べて飲んでもらい2次会へ。勿論全員で向かいましたがこの日は雪がひどく、吹雪みたいな夜でした。2次会の席で外を見ると窓越しに雪が真横に降っていました。ここでカラオケをかわるがわる歌っていると、あっという間に時間は過ぎ、一応お開き。あとは翌日のゴルフに備えてホテルに帰った人、卓を囲まないと眠れない人、まだまだ飲み足りない人の3グループに別れました。私は3次会組でしたが何時まで飲んでたのか覚えていません。ホテルに帰ると麻雀組はホテルではなく雀荘で麻雀したらしく、部屋には卓が用意されたままでした。せっかくだからということで、人の部屋でありながら図々しく麻雀をしてしまいました。私は後から見



ていたのです

がいつの間にか眠ってしまいました。翌日、道路は所々アイスバーンになっていたようですが、ゴルフ組は何とか無事にゴルフ場に到着したようです。残り組はゆっくりホテルを出て観光、通詞島で昼食をとってから帰る予定でしたので、時間つぶしに地元の温泉にはいり食事をし、運転手2人と飲まない人を除いて昼間からまたビール。帰りの車中では寝ていました。運転手さんすみませんでした。ゴルフに関しては優勝者が原稿を書いていると思いますのでそちらをお読み下さい。

（常務理事 蔵田幸一）

熊本市歯科医師会親睦ゴルフコンペ

12月17日（土） 天草にて熊本市歯科医師会の移動理事会が行われました。また、次の日の18日（日）には有志によるゴルフコンペがあつまるレークカントリークラブにて行われました。

移動理事会の折には天草には珍しく雪が降り、翌日のゴルフコンペが行われるかどうか心配でしたが、天気も回復し少し寒いながらも絶好のゴルフ日和になりました。

成績は、ダブルペリア方式により行われましたが、1位興儀、2位稲葉、3位古賀でした。

珍しく興儀が優勝した理由として、隠しホールで大叩きした事もありますが、前日の夜1時頃、私の大先輩であります矢毛石が、腰痛持ちの興儀の腰を念入りにマッサージしたのが最大の勝因だと考えられます。次回もよろしくお願い致します。（興儀実彦）

理事会＋中根元会長＋事務局＋医療管理委員会

-Part 1- 韓国釜山旅行記



平成15年4月に3年間の長期航海に出帆した第一古賀丸は、古賀明船長（57）以下乗組員15名とも全員元気にこの3月、無事に航海を終えました。本報告は、任期の締めくくりの相互慰労を、と計画された対馬海峡往復の2日間の航海日記です。この航海の目的は、理事会や委員会の親睦を図ることのみならず、日本・九州と朝鮮半島人民の相互理解とお互いの文化を尊重しあうことにありました（ウソを言え！）。あ、当然ですが、旅行費用は全て各自の自弁です。

2月10日（金）博多に集合

旅行の足には、博多と釜山を往復する高速船を利用しました。8時の早朝便なので、博多前泊を基本に日程が組まれました。筆者も博多で前泊したのですが、たまたま別の会合が天神で組まれており、他の皆様とは別行動しましたの

で、この晩、博多で何が起きたのかは全く知りえません。翌朝の集合時に、相当量の揮発性有機物を呼気中に排出する方が見受けられましたことのみを記しておきます。

2月11日（土）建国記念の日（紀元節）

朝8時前、遅刻者なしにご一行様は全員博多港国際ターミナルに集合しました。もちろんパスポートの帯同忘れありません。定刻の8時45分にコビー号は一路釜山を目指し出発しました。韓国通のある先生曰く、「コビーとは“小さなビートル”のことではないよ！」。あ、そうなんです。



乗 船

博多港から釜山港まで3時間弱（最高時速83km）かかります。でも船内販売の発泡酒並みに安いカンビールを2本も飲んでちょいと眠って

いれはすぐ着く、ハズなのですが、これが噂通りに、対馬海峡の途中でガクーン！と急停船するではないですか！そう、対馬海峡を動き回るのは船だけではなく、もっぱら先住権はクジラ君たちにあるのでして、衝突を避けるための緊急停船です。で、座席には飛行機なみに座席ベルトが装着してあるんですね。納得。実際、私たちが行く前の2月6日と後の3月5日にビートルがクジラと衝突しており、水中翼が破損、高速航行不能になり対馬の港に緊急入港、乗客にもけが人が出ています。潮吹きして存在を誇示してくれりゃ避けようもありますが、80kmで水上を飛ぶように航行する船の前に、突然浮上してきたらぶつかる以外にありえません。クジラにとってはいい迷惑です。そういやあ、船が急停船したのも9時だ！

船内では「世界の中心で愛を叫ぶ 劇場版」のビデオ放映です。前から観たかったものなので、ラッキー。去年の暮に発売されたばかりなので、客室で流すのはダメなのかもしれませんけどね。

2時間もたったころ左手に対馬が見え、しばらくすると前方に半島の南岸が水平線に見えてきました。薄い海霧がなくなり、その風景にだんだん明瞭さ増してきます。400年前の釜山浦を目にした加藤清正になった気分です（私だけでしょうけど）。船上から見る釜山は岩山が海に迫るその斜面を埋め尽くすように高層ビルが立ち並ぶ大都会です。人口は横浜市より多く372万人、面積763平方kmです（対熊本市比で人口5倍半、面積3倍）。

到着、そして昼飯

定刻に少し遅れて12時過ぎ、釜山に入港。港の規模も三角港なんて目じゃありません。釜山港はコンテナの取扱個数では世界ランク5位で、同12位の東京港、15位の横浜港を合わせた数字に匹敵します。

入国手続きを済ませ、港のロビーに集合すると何処からともなく、チト怪しげなオッサンが近寄って来ます。「ハイ、リョウカエ（両替）

は、いらない？ キンコ（銀行）は手数料とるけど、私、とらない。タ（だ）カラいっぱいウォンもらえるよ！」と耳元でささやいては柱の陰に潜みます。あまりの怪しさに、最初は敬遠していましたが、実際円とウォンの交換レートが100ウォンだけですが有利なので、そのあたりにいた私を含む理事連数人は1万円を8万9千ウォンに交換していました。



数分後、手配のバス（交通システムは日本と逆で左ハンドル）に乗り込み昼食会場に向かいます。道路は広く車は猛スピードです。目的地が道路進行方向反対側の場合、方向転換はそれが許されている随分先の交差点まで行ってからしかできないそうです。オートバイはみんなノーヘルです。何でも年間の交通事故死が7千人を越えるそうで、人口が約3倍の日本のそれが6千9百人弱ですから、韓国の交通事故死は日本の3倍の頻度です。

出航前からキムチ腹モードになっていた私は、周辺の空気の新オイに空腹を覚えます。期待に違わぬ美味しさの韓国料理屋です。辛いスープ、チヂミ、キムチ…。どうしても食べたかった手長ダコの刺身は“踊り食い”です。この吸盤付きのぶつ切りタコアシくん、よく動かし盛って





ある皿に吸着して離れない生きの良さです。ムニムニユ感、タコというより蚕虫のような風情ではありますが味は良し。韓国のハイトビールのバドワイザー風の軽い酔いも手伝い、全員超満腹。



ホテルへ移動



昼食を終え、バスは釜山市の海浜リゾートである海雲台（ヘウンデ）にあるパラダイス・

ホテル・ブサンを目指します。所要時間40分ほど。なぜ、このホテルが選択されたのか。それはここにカジノがあるから。あり余る円を大量のウォンに換え、韓国の外貨準備高増加に協力するのも我々の目的の一つであり、国際協力の一形態でもあります。

地下鉄に乗って

あり余る円を所持しない一部の理事は（トホ



ホ、私もそっちの組でした）、地下鉄に乗って街頭見聞に。行き先は釜山一高級なロッテホテルと国際市場。釜山の地下鉄は3系統あり、10kmまでは900ウォン、10km以上は1000ウォン。まあ、100円で乗り放題、といったところ です。

だけでも駅ではずいぶん戸惑いました。まず、



自分が路線図上のどこにいるのかわからない、目的駅が路線図のどこだか分らない、その駅までの料金がわからない、ホシザキの業務用大型冷蔵庫のような見映えのデカイ自動券売機の在り処がわからない、自動券売機とすぐ近くに設置してある宝くじ自動販売機や老人割引チケットの発券機の区別がつかない、自動券売機の使い方がわからない、券売機で紙幣が使えるものとそうでないものの区別がしにくい、クシャクシャのお札が通らない、自動改札機がまるで熊本空港の有料送迎デッキの入口のようで荷物を両手に持っているときは体を通すのがやっと（私は改札済みのキップを取り忘れてしまいましたが、久保さんに拾ってもらいました）、やっとホームに降り立つと、やって来た車両が自分の乗るべき方向なのか逆なのかかわからない、など。散々です。

それでも何とか乗り込んで移動開始。駅の放

送はなく静かなものです。どうせ聴いても理解できないからちょうど良い。車内放送はいろんな小鳥の鳴き声がBGMで、路線図を凝視していれば駅名くらいは聴取できますから、降りそこなうことはありません。駅には全て通し番号が振ってありますから、通過する駅を数えていれば間違いなし。

中心街まで40分ほどの所要時間ですが、座席が空いているから座っていけます。だけでも居眠りはできません。目覚めたときに、それこそ、ココハドコ？の世界に突入するはずですから。

地下鉄の車内で驚いたのは30分乗車していれば、一度は釜山市民の“車内販売”や“宗教勧誘”に出くわすことです。あっちの車両からオッサンやオバサン、あるいはオニイサンがツツカとやって来て、やおら商売道具（十字架だったり電気カミソリだったり）を手に持ち、車内の乗客に向かって大声でセールストークをはじめます。堂々とした発声です。日本だと、そもそも車内での商行為や勧誘行為はご法度のハズですし、そういう人たちは他の乗客からは完全黙殺されるのでしょうか。だけど釜山の人たちはちゃんとその演説に聞き入っています。中には財布からお金を取り出し商品を買う人も複数存在しました。サクラかもしれませんが、売り込みも買い手も地下鉄車内の日常風景のようでした。宗教勧誘は駅の地下通路を歩いているときにも行われます。私は自分が真宗門徒であることを熊本介で告げてキリスト教系の勧誘を断りました。

国際市場



朝鮮戦争のとき、逃げてきて人たちが建てたヤミ市が起源だそうで、この市場はやたらと広い。昭和30年代の子飼商店街が縦横10本ずつつながっているようなものです。雑然とはしているが、それなりに整備された町並みは、きっとソウルオリンピックの時代あたりに、そうだったのでは、と私はふんでいます。韓国は奇跡的経済的発展を遂げ、いまや昔日の面影を残すところは表通りにはないのです。日本の30年前と一緒。W理事、F理事と3人でブラブラしました。街はずれの八百屋でW理事はトウガラシ3種の詰め合わせを買おうとしますが、このあたりまで来るともはや日本語がうまく通じません。ワーワーわめいていると、地元のバアサンが近寄ってきて通訳してくれました。戦前の教育を受けた世代はバイリンガルです。ここ以外でもジイちゃん、バアちゃんには助けてもらいました。トウガラシは1種類のみが辛く、他はシシトウみたいなものだ、ということだったのですが、ウソでした。帰国後わが家で食べたら大当たりがあり死ぬ思いをしました。

ロッテ・デパート

1泊2日のあわただしい旅なので、明日ゆっくり買い物できる保証がない、と西面（ソミョン）にある高級なロッテ・デパート8階の免税店に行きました。腕時計や宝石、ブランドバッグなど免税の定番商品がフロア中に広がっています。ところが私ときたら、そこで購入したのは、ノリとキムチ…。あー、イヤダ。イヤダ（まるで草団子のとらやの裏の印刷工場のタコ社長ですね）。レジで7千円ほどの会計をしようとは何気なくVISAカードを出すと、「お客さん、ラッキー！アナタダケヨ（とは言わなかったかな）VISAだと今日は5%オフね」。ところが、次のひとことに驚きました。「キヨムラさん、アナタ明日帰るけど、買った商品は今、自分で持って帰る？それとも港で受け取る？」ときいてきます。なんと個人名がカードで特定されると、デパートのレジの液晶表示にその外国人の行動予定が全て表示される仕掛けでした。

個人情報保護、なんてないんでしょうね、きっと。

晩御飯

西面散策に夢中になり、ホテルに戻ってきた時は遅刻でした。カジノ組に謝りつつギャンブルの戦果を尋ねますが、いまひとつ返事の歯切れが悪い。やはり韓国経済に奉仕したのか…？。



晩御飯は定番の焼肉屋さん。ホテルの近くです。うまいですねえ。肉を500gくらいは食べたのではないのでしょうか。なかでも骨付きカルビをハサミでバサリ切って、塩で食べるやつ、あれが美味しかった…。キムチにニンニク丸焼き、その他名前がわからない食べ物もいっぱい。部屋は全部個室なのですが、地元の家族連れと思える客がほとんど。支払いは日本の焼肉屋さんと同じくらいの費用です。イルボン料金かもしれないが旨いから許そう。

二次会とおやすみなさい

元気のある人々はそれぞれの思いを胸に釜山の闇に消えていきます。私は春先にときどき出る喘息と花粉症で体がだるく部屋で早々に熟睡します。ホテルの建つ海岸はもとは白砂青松の浜だったようですが、そこで夜中に突然打ち上げ花火が！何処の若者も海岸に行くと花火をや

るんだな、とボンヤリと考えていたのですが、翌朝そのことをF理事に言うと、実はこの晩は旧正月後の初めての満月の夜を祝う地元の伝統的祝賀が行われていたそうで、釜山の人々のよき一面を見た思いでした。



高級ホテルなのですが、日本との常識の違いなのでしょうか、冷蔵庫の全ての飲物は有料です。スーパードライ缶が800円くらいにつきます。高い。また、韓国は国策により、世界一ブロードバンドが普及しているのです、と思い小さなパソコンを持参していたのですが、肝心のLANジャックは大きなサイドボードの裏側でコードを差し込むことができませんし、LAN接続も2千円くらい払うと使い放題、と書いてあります。ブロードバンドの普及世界一は韓国だけど、一番料金が安いのは日本であったことを思い出したのはそのときになってからでした。結局メールは使えずじまい。日本では安いビジネスホテルでもネット接続は無料が常識。

NHKのBS放送をつけっ放して寝ていたので、目覚めたとき自分が釜山にいることを自覚するのにしばし時間を必要としました。

朝食

翌朝も良い天気です。朝ごはんはバイキング形式で、私は洋食を食べましたが、そこここに韓国風味付けものがちりばめられていて、地域性を感じます。まあ、朝からキムチを食べる気にはなりませんでしたが。

再度街中探検に

帰りは港で現地集合にし、集合時間を決めて、それまでは各自自由行動にしました。私は前日

と同じメンバーF理事とW理事の3人組で行動することにしました。朝9時半、また地下鉄の駅に向かいます。歩道を歩いていると、いきなり歩道が途切れて一段下の車道を歩かされます。歩行者優先とかバリアフリーやUDデザインはここにはありません。F理事は、パスポートに押してある出入国のゴム印が全て博多と釜山の入管のもの、という大の釜山好き。地元と同化して歩き回ります。駅に行く途中、W理事の姿が見えなくなったと思うと、そのあたりの出店で焼き栗を買っていました。これはなかなか美



味しいオヤツでした。駅に着くと昨日の学習結果を応用して、今日はスムーズに切符が買えました。

昨日行ったロッテと並ぶ有名デパートの現代デパートに入ります。地下鉄1号線の凡一洞(ボミルドン)駅から地下二階に直結しており、大変便利。ロッテも現代も釜山のデパートは日本のそれとまったく同じつくりで、異国情緒はありません。デパ地下はやはりデパ地下で、食材売り場にわけのわからない異様な形の肉の塊がむき出しで置いてあるところは特筆ものです。

熊本の特産品と思い込んでいたデコボン(不知火)が1個350円くらいで売っています。高級なミカンです。ハングルが読めないので分りませんが、きっとデコボンと書いてあるに違いありませんね。

私はこのフロアで漬けアミ、キムチ3種、辛子メンタイコ、独特の味噌、カップめん、カップスープなど約1万円分の買い物をしました。レジで支払いを済ますと、そこのおねえさんが、後方のエスカレータ脇を指して、そこに行くよ

うに言っていますので、それに従います。すると六角形をした占いに使うような棒を3本くれて、それを床に敷いてある赤い布の上に投げるように言います。投げると、止まった棒の上向きの面に書いてある文字を確認しています。いきなりジャラン、ジャランとカネがなり、オメデトウ、と私にサンキスト・オレンジジュース1.5リットル入りペットボトルをくれました。うれしいけど、ちと重いお土産になりました。



昼食



F理事のもともとのネライは、この現代デパートの地下にあるビュッフェコーナーで食べられる韓国風お粥にありました。時間もちょうど昼となり、そのお粥に加え、私は肉の入ったスープ飯を購入。どちらも大変旨いけど、2食分の完食は堪えました。

食後の散歩

デパートを出て、地上の風に当たりに行きます。道の向こうに釜山鎮市場、平和市場、自由市場などのカンバンが見えます。庶民的なスポット満載、といえば聞こえがよいのですが、これ

ぞ昔ながらの釜山、という一帯のようです。昼間だから良いけど、晩にきたらさぞやディープなところ、と思われる雰囲気が出てきます。中古の工具（のこぎり、ゲンノウ、パイプカッターなど）のみを扱う商店街が最初に目に留まります。衣料品しかないところ、箱に入ったままの薬のみ売るバルクショップ、何屋だかわからない薄暗い店、こんな中古の時計に値段を付けてうるのか？と驚愕させる屋台、20年は使ったろうという電気掃除機を路上に置いて商売する男…。次の機会にはぜひ、またこの3人で、この庶民的なエリアの奥深く入り込むことを誓って港を目指し移動開始。

そもそも、古賀丸が航海の舞台として選んだ対馬海峡とはどのようなところでしょうか。

◆最終氷河期

海面レベルが今より100m以上低かった20万年から1万8千年前の最終氷河期には、北方に位置する間宮海峡とともに大陸や朝鮮半島と陸続きで、大きな湖であった日本海の周囲に回廊を形成していました。対馬海峡は、「対馬陸狭」だったのです。この時代、大陸のヒトを含む生物は現在の日本列島に相当する大陸東端にも移り棲んでいました。この時期の終末期にヨーロッパで描かれたのがラスコー洞窟やアルタミラ洞窟の壁画です。

◆最終氷河期の終りと晩氷期温暖期

1万5千年前、地球は一旦温暖化し始め、1万3千年前にはその傾向が明らかになります。かのナウマンゾウやマンモスが絶滅したのはこのころです。

◆ヤングドゥリアス期

1万2千年～1万1千年前。この時期の地球気候の変動はすさまじいものがあります。100年の間に、気温が6℃下がり、続いてヤングドゥリアス期末期（10720年前）には、50年間で気温が7℃上昇もし、寒冷期が終わったそうです。

1万2千年前の急激な寒冷化に伴う多雪期を経たころ縄文文化が生まれ、1万5百年～1万

帰 国

今度は集合時間に余裕で間にあい、他の理事連と合流。無事に帰国できました。博多港にはチャーターした大型バスが待っており、熊本までは伊丹十三監督「スーパーの女」のビデオを見ながら楽々の帰宅でした。ただ映画が終わる前にバスを降りたので、気持ち悪い。その日のうちにAVクラブで借りて最後まで観ました。

それからしばらくは、私の晩御飯は毎日キムチ。患者さんには申し訳ないけど、旨いもののほうが優先。

年前の間氷期にはそれまでの冷温帯落葉広葉樹林（ブナ）を利用する生活から、広がった海の恩恵に与る海洋文化の一面（縄文貝塚）が見られるようになります。この時代の縄文土器の代表として、県内宇土市の3号線松橋バイパス沿いにある貝塚の名前の付いた曾畑式土器がありますが、この土器のルーツは朝鮮半島南部にあるとされ、その分布範地域は、朝鮮半島南部の釜山市にある東三洞（とうさんどう）貝塚から九州全域、さらに、沖縄県読谷村の渡具知東原（とぐちあがりばる）遺跡、同県北谷（ちゃたん）町の伊礼原（いれいばる）C遺跡など、南北950キロメートルにも及ぶ広大な範囲に及びます。釜山の人々と熊本人はこの時代から相互交流をやっていたのですね。

◆対馬暖流が日本海に流入

9千年～8千年前には、海面が上昇し対馬海流が対馬海峡を越え、日本海に暖かい海水が流れ込み始めます。この影響で日本列島は湿潤温暖化し、日本海側は豪雪地帯となり、列島を広く温帯広葉樹林が拡大します。この時期に日本の海洋的風土や縄文文化の性格が確定します。

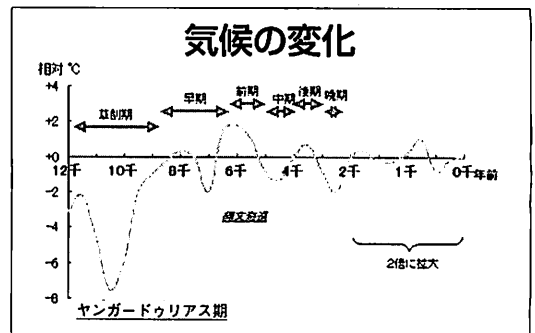
◆ヒブシサーマル期

6千5百年～6千年前にはとても温暖な時期がありました。太陽活動が活発で、年平均気温は現在より2～4℃高かったそうです。7千年～5千年前までのこの時期は、ヒブシサーマル

(hypsihermal) 期、あるいは気候最適 (post glacial climatic optimum) 期と呼ばれます。氷河が解けて縮小し、また陸地はその上に乗っていた氷の重みから開放され浮き上がることにより、海面が上昇します。そのせいで海面は現在より数m高くなったそうです。この縄文海進の時代、熊本の海面は今より 6 m 高かったそうで、天草の 1 号橋下に見える下すぼまりの小島はこの時期の波浪に削りとられたものであり、また今ではかなり内陸の益城町でも貝塚がみられるのもその時代の遺物です。平成 11 年 9 月の 18 号台風時に不知火町松合を襲った高潮がちょうどこの高さ (6 m) ですから、6 千年前の海岸線が熊本のどこにあったかを想像すると、その激変ぶりを想像できます。坪井や出水をはじめ、熊本平野の低地はすべて海面下であり、江津湖の斉藤橋がそのころの海岸線です。九州の陸地面積も今よりずいぶん狭いもので、当然朝鮮半島との交流も陸続きだったところに比べると寂しいものであったことでしょう。海外ではアフリカから中近東は現在より多雨で、現在のサハラ砂漠は森林に覆われていたそうです。中国黄河流域では、このころ早くも灰陶、彩陶中心の仰韶文化が現れようとしていました。

◆再度の冷涼・寒冷化

5 千 5 百年前から、またもや冷涼化し海退 (陸地の増大) が始まり海洋に生活の糧を求めるライフスタイルを確立していた縄文人の生活環境は悪化し、必然的に内陸生活に適した生活様式に移行します。5 千年前に急速に寒冷化し、海退の結果、海岸線は 40km も彼方に退きます。人口が増加していた縄文人は山地での狩猟採取生活になり、食料危機に見舞われ、縄文中期は終りを告げます。3 千 5 百年～2 千 5 百年前の世界を見渡せば、気候変動により食糧危機が生じ、四大文明は滅び、民族大移動が起き鉄器時代に突入します。



晩氷期以降の気候の変動と文明の盛衰 (安田、1996)
(年代は補正を加えない C 14 年代測定値にもとづいたもの)
「縄文文明の環境」安田喜憲著、吉川弘文館発行 参照

(清村正弥)

理事会 + 中根元会長 + 事務局 + 医療管理委員会 -Part 2- 駆け足韓国旅行記

2 月の連休熊本市歯科医師会古賀会長の 3 年間のご苦労さん慰労会とかこつけて熊本市歯科医師会執行部有志による韓国旅行が実行されました。海外旅行とは言っても 1 泊 2 日、つまりついた日と帰る日の足かけ 2 日間の旅行です。おのおの大きな期待、小さな夢を抱えて朝 8 時博多港集合であります。中には前夜から博多の町を徘徊していた輩もあったようです。さて韓国いかに近くとはいえ外国です。税関でパスポートを見せ待合所へ、免税店の景色はもうすでにどことなく外国風であります。港に停泊する大きな旅客船を横目に我々は小さな水中翼船「コ

ビー」に乗船です。韓国航路の高速船はこのコピーとビートルの 2 つがあります。前者は韓国の会社の運行する船で、後者は日本の J R の運営によるものだそうです。さて飛行機ほどにはもったいぶらずに出航しました。約 200 キロ、3 時間ちょっとの船旅です。幸い波も静かでこの時期にしては最高のコンディションの様です。筆者は学生時代ちょうどこの時期に、この近くで現在熊本市会員のある先生とウインドサーフィンで沖に出てずいぶんと苦労をしたことを思い出します。そのときの海と比べるとまるでべた風です。船内は 2 階建てになっておりほぼ満席

状態でした。はやる気持ちを押さえ、まずは缶ビール。いったん圏外になった携帯電話も対馬の付近ではまた通話が可能になります。ちょうどそのあたり快適な船旅を満喫していたところのことです。いきなりドーンと大きな衝撃とともに船が急減速しました。そういえば昨日来のニュースでは同じ航路のビートルが鯨と衝突して対馬に緊急寄港したとの報道がありました。船内は一瞬騒然としたものの船は傾くこともなく微速前進を続けています。そのうちアナウンスがあり、「今、鯨の姿が見えたので衝突しないように減速しました」とのアナウンスがありました。しかしながらそのとき客室にいる数名の乗務員がかなりあわてていたのは間違いありません。もしかしたらイルカぐらいには当たったのかもしれませんが、そして海面が真っ赤になっていたのかもしれませんが。ほどなく巡航速度にもどり一安心、やはり3時間は退屈です。途中1人の先生が船酔いでフロアに2つしかないトイレを占領し、僕の席の横にあったもう1つのトイレに老若男女日本人韓国人が列をなすと言う事件がありましたがその列もすぐに解消し、しばらくすると釜山の鳥影が見えて参りました。海辺から丘陵地まで結構背の高いビルが並んでいます。建物が薄く華奢に見えるのは地震がないせいであり強度がいらないからだそうです。先だつての玄海沖地震の震源から150キロほどしか離れていないのにここは大陸だからでしょ



うか? 12時頃に到着、時差は0です。降りたてみると外国に来たと言う実感はあまり無く、しかしこの大地が遠くヨーロッパまで続いているんだと思うとちと感動的ではありました。ついてすぐにバスに乗り、予約のお昼ご飯ビビンバ

を食べに行きました。この店は日本からの観光客がよく利用するらしくメニューも日本語の併記がありました。貼り紙に「ビビンバ 30000 W (ウオン)」とあります。先ほど港の怪しげな両替商(オフィシャルなものより少しだけレートがよろしい)で日本円から換金した時には1万円が8万ウオンでしたから、3万ウオンつまりビビンバが3750円と言うことです。ふ〜んやってくれるな、と思いながらもまあ気を取り直して、名物生たこの刺身やチジミ(お好み焼きのようなもの)を追加して「メッチュジュセヨ」であります。「メッチュ=麦酒 ジュセヨ=授



せよ」かどうかは知りませんが「ビール下さい」の意味だそうです。某専務を筆頭に執行部古参の皆様およびなぜか同行の先々代会長たちはこの国も何度目かとのこと、言葉もしきたりもよくご存じです。味はさすがになかなかのものでしたし、この国の流儀とのことで付け合わせやスープはお代わり自由(お代わりのスープはやかんに入れておいてある)でした。ただ一つた刺しについて来たわさびがまるでクレヨンかアマガエルのような鮮やかな濃い緑だったのには手が出ませんでした。まるで「わさびだって〜へっ緑なら良いんだろー緑なら…」という感じでしたが、しかしよく考えてみると日本国内でもおそらくはほぼ同じ組成のものがもっと丁寧に気を遣って着色されているにすぎず、それに僕らが飼育慣らされているというのが現実なのかもしれません。さてお昼も食べたしひとまずはホテルにチェックインであります。バスに乗り出発! この国の道路事情は一見なかなかよろしいようで、大きな何車線もある通りがまっすぐにのびたそのまま滑走路になりそうなどこ

ろも有りますし、信号や標識なんかもちろんきちんとしています。ただ今回の行程中大きなバスに乗っているにもかかわらず至る所でウーターンをすることがありました。お国柄なのか少し遠回りして方向を変えたりせずにえいやと切り替えして先を急ぐのでしょうか？まあ道もあまり混んでいる訳ではなく咎められる事もなかったものでこちらのスタイルなのでしょう。あと、歩道が途中でなくなったり大きな段差があったりというのはご愛嬌といったところでしょうか。さてホテルに荷物を置き早速探検開始です。



ご同行のこの国に詳しい某社社長さんに引率してもらい国際市場あたりに潜入であります。地下鉄で出掛けたのですが、別に端から端までという訳ではないのに乗り換えを含めかなりの時間（40分ほど）を要しました。どうやら相当大きな町ようで、後で聞いたところでは350万人も住んでいるそうです。服装は日本国内のそれとあまり変わりはなく、女性のファッションも日本的ではありましたが、この国にいる間に体の線があらわになるような服装の人は一人も見かけませんでした。流行りなのか強烈真っ赤な口紅の人を時々見かけました。また、どうもカツラじゃないかという感じのヘアスタイルをよく見かけます。この国の人には美容整形に恐ろしく積極的で、親が娘をつれて病院に行くほどだそうで近くて遠い国です。地下鉄に乗ってる人たちを見るとはなしに観察していると大声でケータイで話しながら乗ってくるおばさんもいましたが、若い人は年寄りにさっと席を譲ったりするのが当たり前で見ていて気持ちのよいものがありました。やはり徴兵制度のせいでしょうか特に若い男子はびしっとして見えます。しかし…車内でCDラジカセを大きな音で鳴らし始める人がいます。何の騒ぎだろうと思ってみているとなんと車内で商売を

しています、CDを売っているんです。かと思うといきなり大声で何かを訴え始



める人がいます。関わり合いになりたくないな～と思っていると十字架を掲げて聖書を脇に車内をうろろう、この人は布教活動です。メイドインジャパンのセリフが確かに聞こえた男は夜店にでも並んでるような電気カミソ리를売っていました。ハングルの広告は全くわかりませんが美容整形の広告には英語も混じっています。車内や駅ホームの広告はやはり圧倒的に美容整形が多いようです。国際市場付近に着きました。



歩いて回る町並みは日本とあまり変わらない雰囲気ですが、零細個人経営者な

どは露天地べたで生魚を売ってたりします。細かい路地に入っていくほどに強い生命力を感じます。筆者はこういう所へ来ると、ついより狭い道へと入りこみたくなります。根がスケベなせいでしょうか、表の飾った姿じゃなくおまえの（町の）真の姿が見たいんだ！といったところでしょうか。かくしてF川、K村、W辺の探検家3名は赤、緑、緑3種の生唐辛子をゲットし、集合時刻に見事遅れたのでありました。

ホテルに一旦戻り、お待たせした皆様にお詫び申し上げ、夕食、待望の焼き肉で



あります。案内された店は地元風のしつらえの清潔そうなお店でした。骨付き肉をハサミで切



りながらいただくおなじみのスタイルです。味はいけますおいしい！床ぬくぬくのオンドルも初体験でしたがこれはなかなか気持ちいいもん

です。最近日本でも床暖房なんて言ってますが、こちらが先だったんですね。というわけでおなか一杯頂きました。

お代は昼間のビビンバ屋とはほぼ同じのこと高いんだか安いんだか、なんでも満足！



さて今宵のひとと

きはスノップにカジノであります。釜山でただ一カ所のカジノは我々がパラダイスホテルに併設しております。このホテルはかなり立派なホテルでアスレチックもプールもあります。部屋の風呂場にはガラス張りのシャワーブースもあり（独り寝でなければなおよろしかったのですが）、レストランも充実しています。どれもこれも試してみたいところではありますが何しろ今夜限り、明日は帰国です。となれば日本には無い物、そうカジノです。博打です、突撃であります！入り口でパスポートを見せ（外国人オンリー）中へ、スロットマシン、パカラ、ブラックジャック、ルーレット、等々並んでいます。まずはブラックジャックのテーブルについてみました。このゲームはトランプでやったことがあります。子供の頃正月に弟とお年玉をかけてやったのですが、10円、100円とやってるうちにじゃあ10万円だ！100万円だ！となって（もちろんこの辺は現金ではなく）確か今でも1億円以上は貸してあるはず。冗談はさておき、ここでは1万ウォン（1250円）でチップが4枚来ます。数万ウォントライしてみました、どうも思わしい風が吹きません。それではと河岸を変えてルーレットに座りました。こちらでの勝負は何となく鳴かず飛ばずながら減りもせず

と言った具合、ここはぐっと我慢の所でしょうか、前に座る勝ちっぱなしの堅気？な方の打ち方をまねてみました。ちまちま並べるのではなく広範にどっとばらまくように…すると少しずつチップが増え始めました。最高額一枚10万ウォン（12500円）のチップも何枚か手元にやってきました。ところがそこで「この台はあと数十分で終了です、その後はほかの台に移って下さい」とのアナウンス、時計を見るともう夜中の2時です。そろそろあがろうかなというところではあったのですが、そのとき、「そういえば確かここは飲み放題食べ放題のすべて無料だったのだ」ということを思い出し、いやしくもウイスキーを注文してみました。やはりうまいです、特に無料とあれば格別。しかし何で無料なのかと考えてみましたが、結論としてはハングリーな客より太っ腹な客の方がカモとして与しやすいためなのでしょう。ご想像のようにその後太っ腹になった筆者は右手にざくりとチップをつかむと確率2分の1に1点張り。あえなく元の木阿弥となったのでありました（もちろん元手と幾ばくかは残してね）。最高の負け方でした。もし勝っていたら私の性格上やみつきになり大やけどするまで止めないのはわかっています。賭場を後に外へ、夜風に当たりながら海岸に出てみました。煌々とともるネオンの前で



は「刺身！刺身！」と客引きです。夜中の2時に刺身を食えと袖を引くのです。

何処までもエネルギーな国民性です。海辺にろうそくがちらほら見えます。祈りを捧げている人もいます。今夜は何かの祭事の日だったようです。

さて2日目も朝から探検です。この日ディープに歩いたのは前日の国際市場から地下鉄で2駅の地区です。ずらりと工具ばかりを扱う店が軒を連ねる工具街は圧巻でした。また、どうや



ら魚屋さんをはじめとした生鮮食料のミニマムなしつらえの店々が建ち並ぶ地区は少し不気味な感じでした。日曜ということで店は開いてなかったもののその先には怪しい中古家電を集めた店や場違いな宝石屋、さびた高級時計を並べる店などが連なっていました。後で聞いたところでは食用の犬を商う店も有ったらしいとのことでした。



おみやげ

を買いに大手のデパートへ。ここのおばちゃんたちは大変好意的でした。食料品売場の肉や魚のコーナーはさしずめ動物の部品売り場といった趣で、いろんなパーツが売られています。さて最後の食事です。F川先生ご推薦のデパ地下食堂での「アワビ粥」です。ここでは日本語は全く通じません。漢字も見あたりません。身振り手振りでアワビを表現するのはある意味とても危険です。よく似た違うもの



と勘違いされると大変なことになります。どうしたものかと考えているとその心配をよそに「1番高価なのがアワビ粥たい」とのご教示、やはりここでもアワビは高級食材なんですね。待つことしばらく、なるほどこれはいけました。昨日今日濃いめの味付けが多かった中ほっとする薄味。お値段も現地の人向けで超お手頃価格です。一緒に頼んだスープも美味でした。しかしこっちの女性は大食いの方です。向かい側の若い女性がオレンジ色の親指大のうどんのようなものをぐいぐいと口に運ぶ姿には圧倒され



ました。

船でたった3時間で行ける所なのにずいぶん違う。姿が似ているだけにかえって違いが目立つ。おそらくはその昔根源を同じとするであろうところの両国が、後の少しの歩みでこういう風に違った文化を持つようになるとはなかなか興味深いものがあります。中でも人々があくまでエネルギーであることと、若者の目に精気があり、こいつらやる気有りそうだなという印象を強く受けました。日本の何分の一かの小さな国ではありますが、この力強さに対して我々はよほど気合いを入れてかからねば簡単に追い越されそうな強い気迫を感じ、「俺ももう少し気合いを入れんとな！」と反省しつつの帰国となったのでありました。(渡辺猛士)

中根俊吾先生 旭日双光章受章祝賀会

2月4日（土）午後7時より熊本ホテルキャッスル「花菖蒲」にて表記祝賀会が行われました。130名余の出席で、中根元会長の叙勲を祝福いたしました。

式は藤波好文副会長による開会の後、世話人代表として古賀明会長の挨拶、続いて県歯堤直文会長、幸山正史熊本市長（代読田中亮子健康福祉局長）、そして同窓を代表して添島義和先生らが祝辞をのべられました。次に市歯事務局久保友香里さん、同門代表稲葉逸郎先生からそれぞれ花束が、また本田亘先生から記念品贈呈がなされました。

中根先生による、私個人の受章ではなく皆さんの賜物である由の挨拶の後、祝電披露、福田稔熊本市医師会会長による乾杯となり祝宴に移りました。

宴半ば実は中根先生とは同級生だといわれる豊田大徳前熊本市医師会長から肥後狂句の披露がありひとときわ座が盛り上がりました。

祝宴もいっそう賑わうころ、いよいよ時間となり関剛一前会長の万歳三唱、合沢康生副会長の閉会で座はお開きとなりました。

（広報 古川 猛士）



新人です！よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 木村 誠也

診療所名 医療法人社団 皓歯会 平成歯科クリニック

(診療所) 熊本市江越1丁目2-1

電 話／096-379-6480 FAX／096-379-9480

(自 宅) 熊本市練兵町13-7-803

電 話／096-325-7884 FAX／096-325-7884

生年月日 昭和51年5月31日

趣 味 仕事、ゴルフ

経 歴 人吉高校卒業

平成13年 福岡歯科大学卒業

福岡歯科大学口腔外科 3年間勤務



氏 名 関 光輝

診療所名 関歯科医院

(診療所) 熊本市二本木3-3-29

電 話／096-353-0212 F A X／096-322-8088

(自 宅) 同 上

生年月日 昭和48年11月10日

趣 味 車

経 歴 真和高校卒業

平成10年 福岡歯科大学卒業

伊東歯科医院・市民病院

(複合型研修医制度) 1年間勤務

関歯科医院 6年間勤務



スポーツの広場



あつまるデンタルゴルフ会
H17年 年間ランキング

		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	ニヤビン
			雨 (中止)	12	11	12	11	8	11	16	16	20	11	18	
1	宮崎 幸一	41				5	3	2		4	1	4	1		5
2	河野 敬明	33		2	4	1		5	3			1			1
3	山室 紀雄	27		5	3	2			4			3		4	
4	合沢 康生	26		3	2		4					5	2		2
5	大森 秀則	25				B・B		1		5	2			3	3
6	安田 光則	22		1	1					2					2
7	奈良 健一	21				4			1				5	2	1
8	本田 治夫	14						3	2				B・B		2
	北川 隆之	14								1				1	
10	森 一	12		4		3					B・B	B・B			1
	関 剛一	12									4		4	5	1
	七川 洋二	12					2					2			
13	古賀 明	10			B・B						5		3	1	
14	永田 博久	9					5		B・B		3				
	坂井 満	9			5			B・B		3					
16	井口 泰治	8					1								1
17	谷川 貞男	6		B・B				4		B・B					
18	寺島 美史	5					B・B		5					B・B	
19	木村 洋	1													1
20	河合 隆一	0													

空港デンタル会

11月13日 ダブルペリア方式		14名				
		O	I	G	H	N
優勝	松本光示	40	40	80	6.0	74.0
2位	稲葉逸郎	40	44	84	8.4	75.6
3位	千場敏昭	47	42	89	13.2	75.8
4位	本田亘	44	44	88	12.0	76.0
5位	元島博信	43	46	89	12.0	77.0
B・B	吉田皓一	52	55	107	25.2	81.8

あつまるデンタルゴルフ会

10月30日		19名				
		O	I	G	H	N
優勝	河野敬明	46	43	89	19	70
2位	七川洋二	44	46	90	18	72
3位	山室紀雄	42	47	89	16	73
4位	宮崎幸一	42	47	89	15	74
5位	合沢康生	48	43	91	16	75
B・B	森一	56	49	105	19	86

あつまるデンタルゴルフ会

11月13日		11名				
		O	I	G	H	N
優勝	宮崎幸一	43	43	86	15	71
2位	合沢康生	43	46	89	16	73
3位	古賀明	44	41	85	12	73
4位	関剛一	42	51	93	18	75
5位	奈良健一	44	43	87	12	75
B・B	本田治夫	52	58	110	23	87

12月18日		18名				
		O	I	G	H	N
優勝	北川隆之	38	42	80	10	70
2位	奈良健一	42	40	82	12	70
3位	大森秀則	45	50	95	21	74
4位	山室紀雄	45	47	92	18	74
5位	関剛一	48	47	95	18	77
B・B	寺島美史	60	56	116	30	86

熊本デンタル会

11月27日 空港カントリー		12名				
		O	I	G	H	N
優勝	渡辺洋	47	43	90	21.4	68.6
2位	中島義和	41	38	79	6	73
3位	稲葉逸郎	41	37	78	4	74
4位	松本光示	39	40	79	2	77
5位	大嶋健一	42	45	87	10	77
B・B	甲斐利博	41	47	88	6	82

忘年マッチ12月30日 空港カントリー		26名				
		O	I	G	H	N
優勝	渡辺博	38	37	75	6	69
2位	渡辺賢治	39	41	80	9	71
3位	大嶋健一	38	43	81	10	71
4位	工藤隆弘	42	42	84	12	72
5位	神戸威	45	47	92	20	72
6位	添島正和	48	40	88	14	74
7位	甲斐利博	41	39	80	6	74
8位	稲葉逸郎	37	41	78	4	74
9位	角岡秀昭	42	43	85	9	76
10位	田中弥信	52	54	106	30	76

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
11月18日	会長挨拶、総務、庶務、会計報告
12月17日	会長挨拶、総務、庶務、会計報告
1月24日	会長挨拶、総務、庶務、会計報告
2月8日	会長挨拶、総務、庶務、会計報告

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
11月24日	新年会について（食事、出し物、会場、時間）
12月14日	新年会について（ ）
1月16日	新年会について、出席者の確認
1月23日	新年会について、出席者の確認、見積り確認、席次表の決定

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
12月8日	学術講演会事前打ち合わせ及び講師連絡事項 今月のQ & Aについての協議
1月12日	学術講演会の打ち合わせ ホームページの更新について・DVD発送について・Q&Aについて
2月9日	中岳原稿について ホームページの更新について 学術講演会の打ち合わせ

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
11月30日	平成17年度歯磨き巡回指導の反省
12月28日	歯磨き巡回指導におけるノートパソコンの活用について
1月25日	第3回学校保健会理事会についての報告
2月15日	平成17年度第2回熊本市エイズ総合対策会議の報告

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
11月11日	中岳131号編集
11月24日	中岳131号第1回校正
11月29日	中岳131号第2回校正
12月26日	かわら版1月号の編集
1月17日	市歯会御案内小冊子作製
1月25日	かわら版2月号の編集 市歯会御案内小冊子編集

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
11月16日	平成18年度計画及び予算の検討 P 継続、P 総診算定時の留意点 会員からのP 継続に関わるカルテ相談
12月14日	最近の改善指摘事項の検討
1 月18日	質疑解釈資料（H18.1.16）の検討 次期歯科診療報酬改定について
2 月15日	平成18年度点数改正説明会について 4 月熊本市点数改正説明会会場準備について

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
11月29日 12月 8 日	苦情相談事例の検討 H17.10～11月 2 件 次年度の事業計画 これからの医療管理委員会の事業のあり方についてOBの先生方と懇談
1 月26日	税務申告説明会 市役所職員家族健診集計 国立病院機構熊本医療センター開放型病院連絡協議会の打ち合わせ カレンダーの打ち合わせ 税務会計ソフト

公 衆 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
11月16日	学園大健診反省会 健診者110名 第2回フッ素塗布出務者割当て
12月 1 日	第1回フッ素塗布反省会 熊本市民健康フェスティバル反省会
1 月20日	すこやか2006子育て応援団出務割当て 総合的な学習における講師出務について



編集後記

自分には編集の能力がないよなあ、としみじみ実感する6年でした。ま、プロではないのだから、
と言いつつ訳をしながら、それでも広報担当を続けているのは文章をいじるのが好きだからなのかなあと思
います。

根がずぼらな私を支えてくれた委員の先生たちへ多謝。

(T. F)

今期最後の『中岳』の編集を終えてホッとしています。委員会の仕事に長いこと携わっているだけ
で、その時々を担当理事におんぶにだっこ状態のままで4期12年があつという間に過ぎてしまいま
した…委員会の仕事もさることながら、活動を通じて、諸先輩からいろいろとよくして頂いたり、仲
間が増えたりしたことで、歯科医師会に入会したことの喜びを実感しております。今後は形は変わる
かも知れませんが、会の活動には出来るだけ参加して行きたいと思っています。

今後ともよろしくお願い致します。

(T. H)

カメラがデジタルになり、かわら版もネット上を飛び交いながらの編集となり、完全に おいてけぼ
りのオジサンと化した私。今後ともよろしくご指導の程、お願いいたします。

(K. M)

早いもので、広報委員になってから3年がたちました。最近では、「IT化」「ペーパーレス」などの
言葉に表されているように、情報伝達はメールやインターネットが主流になってきています。しかし、
それらの電子文書は保存がややこしく、一度消してしまうと、大部分は二度と読めなくなってしま
います。やはり、「かわら版」や「中岳」は、市歯会の活動や記録を全会員に閲覧・保存していただく
ために必要なものであると思います。今後も、「かわら版」や「中岳」が続きますよう、切に希望し
ます。広報委員を始め他委員の先生方、3年間お疲れ様でした。

(Y. O)

広報委員会に入れてもらって前回も含めて6年間あつという間でした。今回もなんとか任期を終え
ることが出来ました。これも、古川理事をはじめ他の委員の先生のおかげでと感謝しています。有難
うございました。理事の人柄もあってとても雰囲気の良い（のんびりした？）委員会でした。僕の中
で歯科医師会がよいイメージであるのは委員会活動を通じてよい経験ができ、よい先生たちとめぐり
合うご縁をいただけたからだと思います。感謝しています。会員になった6年前「あなたの財産にな
る人たちと出会えるから」と委員会に誘ってくださったK先生の言葉が今実感できます。有難うござ
いました。

(M. F)

開業から日も浅く、右も左もわからないまま委員をお引き受けした3年前。経験豊富な先生方の
見様見まねで、仕事をこなすのが精一杯でした。中岳の取材で、歯科医師会の行事の多さを知り、
編集で各委員会・理事会の執務の量を実感。そして、校正で自分の国語力にがく然とする・・・そん
な繰り返しの3年間。最後まで初心者マークは外せませんでした。古川理事をはじめ各委員の先
生方のお陰で、楽しく過ごすことができました。このような機会を与えていただいたこと、温かく見
守っていただいたことを感謝しつつ、筆をおきたいと思います。

(M. T)

熊本市歯科医師会会誌

第 132 号

発行日 平成18年 3 月31日発行
発行所 社団法人熊本市歯科医師会
熊本市坪井 2 丁目 3 番 6 号
<http://www2s.biglobe.ne.jp/~kdc8020/>
[mail:kda8020@msg.biglobe.ne.jp](mailto:kda8020@msg.biglobe.ne.jp)
TEL (3 4 3) 6 6 6 9
FAX (3 4 4) 9 7 7 8
発 行 古 賀 明
責任者
印刷所 コロニー印刷
熊本市二本木 3 丁目12-37
TEL096-353-1291 FAX096-353-1294